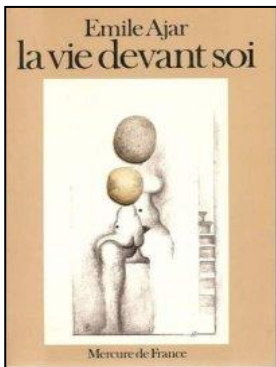


# - Les Ressources Été 2014 -



## Le livre du trimestre



### 『これからの人生』 1975年 著者：エミリー・アジャール

エミリー・アジャールは、実は、最も偉大な現代作家の一人ロマン・ガリーである。この本は、小さなアラブの少年の一人の年老いたユダヤ人女性に対する愛情を描いた作品。「間違いで生まれてきた子どものための家族のない下宿屋」の中で、マダム・ローザに育てられた10歳のモモの話である。

恐らくは、そのシンプルでリアルな文体のせいで、「これからの人生」に心打たれたのは事実だし、今でも、私の大好きな本の1冊！

(クレマンズ)

## A écouter à tout prix !

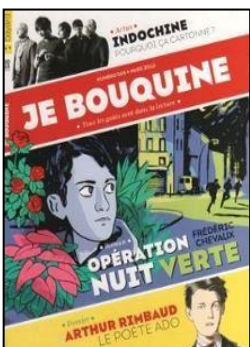


### « La Septième Vague » Laurent Voulzy 歌：ローラン・ヴルズィ 2006年

フランス人シンガーソングライターのローラン・ヴルズィは、彼の島の景色を歌にすることが多い。グアドループ出身で、ノジャン=シュル=マルヌで育った彼の書く歌は、アンティエユの島を思い起こさせるような浜辺と太陽とメランコリーを描いている。

このアルバムには、彼の友達でもあるアラン・スーション等、他の歌手と一緒に歌っている曲も多く収録されている。

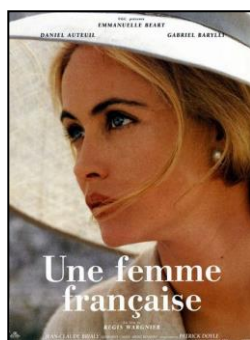
## En français facile



### « Je bouquine » Opération nuit verte No 349

『Je bouquine』は、有名な青少年向け月刊誌だが、平易な文章で書かれた記事や話しが数多く収録されている。中でも今回のお勧めは、「ランボーの5つの詩」とフレデリック・シュヴォーの小説「Opération nuit verte」。ポップスやロックのファンの方には、1980年代から2000年にかけての代表的なグループ「アンドシーヌ」に関する記事が面白い。

## Le film coup de cœur



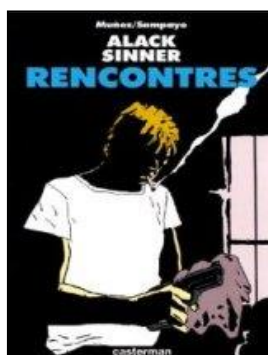
『フランスの女』 100分 1995年

監督：レジス・ヴァルニエ

出演：エマニュエル・ベアール、ダニエル・オートイユ

1939年。若く美しいジャンヌは、ルイと結婚する。しかし、その夫はまもなく出征してしまう。捕虜となったルイは、5年後ようやく彼女の元に帰ってくるが、妻に裏切られていたことに気付くのだった。ルイはジャンヌを許し、やがて双子が誕生。そして、一家4人でベルリンに移り住むのであった。だが、その生活は、もう二人が結ばれた頃のようにはいかず…。

## La BD du trimestre



Alack SINNER « RENCONTRES » 1998年

作画 ムニョス 原作 サンパイヨ

ニューヨークの暗い街角。警察を辞め私立探偵になったアラック・シナーは、不正がはびこる世界で活動している。薄暗い世界にうごめく策謀家たちが、孤独に生きる探偵を追う読者を最後までハラハラドキドキさせてくれる、ノワールな探偵物である。

絵は黒と白で描かれ、至る所に影が付きまとい、その顔は、アラック・シナーが動き回る産業世界の暴力を映し出す。

ホセ・ムニョスが、漫画家として認められたシリーズとして名高い。

## La guide français à l'Alliance



« La Provence » Le Guide Vert

ミシュラン・グリーンガイド 『プロヴァンス地方』

旅行に行くご予定は？単純に、特に一つの地方についてもっと知りたいなどということとは？

グリーンガイドは、情報の宝庫。このシリーズを見逃す手はない！

その地方の歴史、地理、芸術、文化、そして忘れてはならない自然。もちろん、主要都市や絶対はずせないものなども豊富に紹介されている。